

令和6年4月号

ノア Smile

春日部セントノア病院

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.saintnoah-kasukabe.jp



お雛様を飾ろう

これほつてー！

飾り付けって
微妙なのよね...

♪

3月といえばひな祭り！思い思いに飾り付けしました。

菱餅を重ねよう

クラクラ

そとと！

あちゃー！

まだいける！

もうやめとげば？

こちらでは特製菱餅をどれだけ高く積み上げられるか競争です。

打倒！お雛様？

本当に倒していいのかい？

お雛様めがけて
放てー！

どしゃー

おら、いけー

誕生日会風景

史上初？何とお雛様をぶっ倒すというゲーム。なぜか女性陣がノリノリです！

～目次～

- 病院短信 宮崎 享
- 日常の一コマ 浦和 恵美子
- いきいき看護・介護 萩澤 久美子
- 相談室だより 江原 佳世子
- 誕生日会風景 デイルームにて
- スタッフ紹介 高橋 文枝

4月の予定

◇誕生日会

1病棟	4月 8日 (月)
2病棟	4月 9日 (火)
3病棟	4月 5日 (金)
各病棟デイルーム 14:00~	



スタッフ紹介

3病棟 看護師
たかはし ふみえ
高橋 文枝

血液型：A型
星座：ふたご座
趣味：おしんこ作り
ジャム作り



入社してから18年が経ちました。あっという間でしたね！看護師の先輩方には優しくしていただき、いろんな患者さんと接してきました。それらは全て楽しい思い出です。これからも「やさしく思いやりのある看護」を続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



病院短信

『就任のご挨拶』

医師 宮崎 享

昨年8月から内科医として勤務しております宮崎と申します。院長先生を始め医局の先生方、すべての病院スタッフの皆さまに支えて頂き半年が過ぎました。この場をお借りしまして皆さまに深く感謝申し上げます。

私は茨城県古河市で生まれ育ちました。茨城県というと遠方のイメージをお持ちの方も多いと思いますが、古河はその昔、下総国（しもうさのくに）、現在の茨城県南西部、千葉県北部から埼玉県東部を含む地域に属しており、一般的にイメージされる水戸を含めた茨城県の大部分は常陸国（ひたちのくに）と違って別の国でした。春日部も古河も同じ日光街道の宿場で、粕壁宿、古河宿として栄えた町です。現在でも東北本線や国道4号で南北に通じ、文化圏・商業圏としては茨城県内より栃木県や埼玉県と繋がっており、当地とも遠からぬご縁と感じております。

趣味や特技は、と聞かれると特段ないのですが、ひとつ挙げるとすれば音楽でしょうか。クラシック音楽を始めとして特定のジャンルにとらわれず、良いものは良い、と色々聴いております。タワレコ風に言えばNO MUSIC NO LIFEといった感じですが。

当院の前は、緩和ケア病棟で約10年間、主に悪性腫瘍の患者さんを診療していました。緩和ケアはがんだけでなく、臓器不全（心不全・呼吸不全）や認知症の患者さんにも必要なアプローチです。認知症の患者さんを最後までケアする当院の方針には大変感銘を受けました。

ところで緩和ケアは英語でpalliative care（パリアティブケア）



今日は、1月で92歳になられたヤスさんをご紹介します。ヤスさんは、昭和7年に新潟県で7人兄弟の5番目として生まれ、中学卒業後に上京して洋裁の仕事をしていました。40歳で保険の外交員に転職、バリバリ仕事をこなすキャリアウーマンだったそうです。75歳で退職した後も、お姉さんや姪御さん、ご友人らと旅行に行ったりして楽しい生活を送っていました。ところが、コロナ禍で旅行や買い物などの外出を自粛するようになってからは、一人暮らしだったこともあり、心身ともに少しずつ衰弱していきました。そして、不安感からくる動悸を訴えて病院を受診、通院での治療や入退院を繰り返しましたが、エレベーターにも乗れなくなるくらい症状は悪化し、ご自宅での生活は困難となったため、老健施設へ入所することになったそうです。その後2ヶ月ほど施設で過ごしましたが病状は変わらず、長期療養を希望されたため、令和5年5月に当院入院となりました。

入院してからもヤスさんの症状はかなり強く、「トイレに連れて行って」「足の薬を塗って欲しい」など、常に不安を訴えていました。また、歩行が不安定なものにも関わらず、車椅子から立ち上がって歩こうとするなど、ひと時も目が離せない状態でした。そこで、スタッフが横に寄り添って、細やかに声かけをしたり、ヤスさんのお話をじっくりと聞いてあげたりすることで、少しずつ不安による訴えが減っていきました。そして、もともとお話好きなヤスさんは、同じテーブルの患者さん達と楽しそうに話すことが増えていきました。

ヤスさんは食べるのが大好きです。三度の病院食も「このご飯は本当に美味しいね」と毎回完食しています。やはり食べることは元気の源ですね！今では、スタッフが付き添わなくても一人でトイレに行けるようになり、「足が弱っては退院できないから」と廊下の手すりにつかまり、足踏み運動をしたりしています。いつも笑顔で「このスタッフさんはみんないい人ばかりだね」と声をかけてくれるヤスさん。いつまでもお元気で過ごせるよう支援し、笑顔をお返ししていきたいと思っています。

2病棟 看護師 浦和 恵美子



ます。「Palliative」は「姑息的」という意味です。誤用されることも多いのですが「姑息的」には「卑怯な」とか「ずるい」という意味はなく、「一時的に」「一時しのぎの」という意味です。一時しのぎというのと、やはり消極的で良いイメージはないかもしれません。しかし、姑息的治療であれ根治的治療であれ、結局のところ、その人の人生を、天寿天命のその日まで苦痛が少なく有意義に過ごすためのお手伝いをしていこうと考えれば、両者に大きな違いはないはずです。私はこのことを考えるとき、頭に浮かぶ音楽があります。後期ロマン派の偉大な作曲家ブラームスの交響詩「レ・プレリュード（前奏曲）」という管弦楽曲です。この曲は「人生はすべて死への前奏曲にすぎない」というリストの人生観が謳われ、最後は金管楽器が勝利のファンファーレを高らかに鳴り響かせて、曲（人生）が終わるのです。決して厭世でも諦めでもありません。誰にも例外なく死は訪れる、だからこそ後悔のない人生を過ごそうという強い意志を感じるのです。

去る2月、私は還暦を迎えました。干支も一回りし、新たな人生を皆さまとともに歩んで参ります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

相談室 だより

医療相談室 室長 江原 佳世子

4月になり、新年度がスタートしました。相談室一同、気持ちも新たに取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

当院は認知症の専門病院であり、精神保健福祉法に則って診療させていただいております。この度 令和6年4月に精神保健福祉法の一部改正が行われ、医療保護入院の患者さんについては更新（入院継続）の手続きが必要となりました。これにより例えば今後は半年毎に医療保護入院の更新（入院継続）についてご家族の同意をいただき、同意書のご記入をお願いしていくこととなります。詳しくはまた改めてお知らせさせていただきます。

草花芽吹く春が来て、面会時に院庭を散歩するにはとても好い季節となりました。桜を見上げた先の青空に心を預けて、ゆったり、のんびりとお過ごしください。引き続き当院での入院生活が患者さんにとって穏やかな日々であるようにサポートさせていただきたいと思っております。何かございましたら、いつでもお気軽にお声がけください。



いきいき看護・介護

2病棟 介護員

萩澤 久美子



4月はお花見の季節です。昨年は桜の開花がかなり早かったようですが、今年は平年並みか少し遅いくらいだそうです。当院の院庭には約50本のソメイヨシノが植えられていて、とてもきれいに咲き誇りますので、毎年この時期になると病室の窓から外を眺めて、桜の開花を心待ちにしている患者さんがいらっしゃいます。院庭の桜が満開になったら、病棟全体でお花見会を実施する計画を立てています。患者さん全員が院庭に出て、おしるこを飲んでゲームや歌を歌ったりする予定です。普段見られない患者さんの表情が見られるので、私たちスタッフも、とても楽しみにしています。

これから夏にかけて寒さが和らいでいく中で、院庭のお散歩にはちょうどいい季節に入っていきます。患者さんとの楽しい時間を増やしていきたい、また来年も再来年もみんなでお花見をしたいと願うばかりです。

